

「比例を軸に」貫き連続選挙に勝利を

5中総と全国ブロック事務所長会議（18日）を受けた近畿国政事務所会議が25日に開かれ、「比例を軸に」を貫き、統一地方選を前面に、参院選勝利を同時並行で一貫して追求し、近畿が党躍進の先頭に立とうと意思統一しました。

会議では林信一郎・ブロック事務所長が5中総決定に沿って報告し（概要は以下）、京都・大山崎町長選での勝利など中間地方選挙の取り組み、災害対応や要求実現などこの間の豊かな実践を交流しました。柳利昭ブロック責任者が参加し、中間地方



選挙の教訓を広げることなどを発言しました。

●選挙闘争方針

安倍政治の4つの破たん（強権政治、ウソと隠ぺいの政治、戦争する国づくり、経済・外交） 沖縄県知事選の勝利は▽「オール沖縄」の結束したたかいと全国の党・民主勢力の支援の力▽正確な論戦の力であることが、選挙オグの経験を踏まえて報告されました。大山崎町長選は『「オール沖縄」の勝利に続いて、強権的な政治に町民の共同の力で審判を下した、小さな町の大きな勝利』。

●政治方針

当面するたたかいの課題と日本共産党の立場（安倍9条改憲阻止、消費税10%中止、原発ゼロ、災害） 近畿は、大阪北部地震、滋賀・米原の「竜巻」、台風21号など経験したことがない災害が連続。党は国会議員・地方議員・党組織が連携、「苦難あるところ日本共産党あり」の立党の精神で救援・調査・交渉・申し入れなどで奮闘。被災者に「役立つ情報」を提供し大変喜ばれた。大阪、兵庫、京都、滋賀などが政府交渉を実施。農業被害への補助、ブロック塀撤去・補修への前倒し補助、エアコン設置など要求の貴重な経験が生まれた。しかし、政府の対応は従来の範囲。本腰の対応を強く求めるとともに、シンポなどで広く意見と知恵を集める。

●選挙闘争方針

□統一地方選挙 「自民・公明・維新VS共産」の対決構図を鮮明に、政策・実績・役割を押し出す。▽国会議員・比例候補の論戦は非常に重要であり、ブロック事務所・府県委員会が研ぎ澄まされた論戦になるよう力をつくす▽選挙が近づくと候補者押し出しに偏重する傾向があるだけに対決構図、党押し出しが重要。

□段階論に陥らない 連続選挙を一体でたたかう、「比例を軸に」を貫く問題はブロック事務所、国政事務所にとって最大の課題。経験を交流し必ず前進をつくり出す。

●3中総後の近畿の取り組み

□3中総「比例選出議員が、有権者と日常的に結びつき、住民要求にこたえた活動を行うとともに、衆参の国会議員団および比例ブロック選出議員の実績を有権者に伝えていく活動を抜本的に強める」

□要求実現の活動 国会・地方議員が力を合わせ近畿の全府県委員会が政府・出先交渉を実施。出された要求を国会議員が質問に取り上げ、現地調査を実施するなどこれまでにない取り組みが行われた。要求の結集と練り上げ、事前の調査など「要求を実現する政府交渉」となるよう改善を図る。

□議席の値打ちを広げるため、2カ月に1回、国会報告ニュース（日曜版折り込み＝版下）を作成した。さらに努力を重ねる。

□近畿いっせい宣伝 宣伝箇所数は500～600カ所、参加支部2割前後、参加人数は2000人前後。連続選挙を前に「比例を軸に」近畿は一つで党支持の大波を広げる活動との位置づけを明確に、さらに大きな取り組みになるようにする。

●討論 討論では、連続選挙へのギアチェンジ、統一地方選の遅れを打開する取り組み、候補擁立の努力や災害問題の取り組み、大阪のコンビニアンケートなど要求結集と参院選勝利の取り組みが報告されました。

18年近畿ブロック事務所ニュース

Tel06(6975)9111 Fax06(6975)9115

【府県・地区・地方議員御中】

No. 40(2018.10.27)